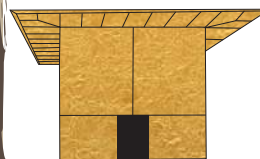


歴史的空間再編コンペティション2018
前夜祭企画

歴史的空間と工芸



11/17(土)
10:30 ~ 19:30

参加無料
建築ツアーのみ要予約

建築ツアー

『建築分野や生活分野における多様な工芸との関わり』

記念講演 &
トークセッション

『歴史的空間の中にある工芸 工芸の中にある歴史的空間』

詳しいタイムスケジュールや申し込みについては、裏面をご覧ください

金沢のまちは、時代の重層した歴史的空間を都市構造とともに残しています。その個性的な空間を舞台に、固有の文化・伝統工芸が育まれてきました。例えば、武家屋敷や金沢町家をはじめとした歴史的建造物には、工芸が職人の手業として数多く残っています。また、工芸を用いて「茶の湯」文化を楽しむことは、歴史的空間の伝統的なしつらえを感じられる取り組みであり、脈々と現在に至るまで引き継がれ、金沢の一つの大きな魅力となっています。

長年にわたり、金沢では固有の工芸を活かし、伝統的な建築や文化が継承されてきました。また、歴史的空間が工芸ショップや工芸作家のアトリエ等として活用されるケースも増え、歴史的空間が再評価されています。

このように建築と工芸の関わりは、多様性を持ちながら、金沢に暮らす市民の生活を豊かにしてくれています。

そこで、建築ツアーでは、金沢の工芸が活かされている建造物を見学し、建築文化や生活文化における多様な工芸との関わりについて学びます。さらに、陶芸作家として世界的に活躍されている中村卓夫邸の見学や解説を通して、歴史的な建造物を飾る工芸の魅力を感じていただきます。

記念講演・トークセッションでは、「歴史的空間の中にある工芸、工芸の中にある歴史的空間」をキーワードに、ゲスト審査員の先生方から工芸との新しい関わり方や建築と工芸の可能性にふれながら、議論を展開していただきます。

フライヤー制作



本コンペは、金沢を盛り上げるべくして成立した、北陸地方で建築・デザインを学ぶ学生によって構成された学生団体が運営しています。

SNOU